

名古屋市立当知小学校の総合学習を支援しました



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

いのちと暮らしをまもる
防災減災

国土交通省
SHONAIKAWA RIVER OFFICE

6月10日(金)に、名古屋市立当知小学校で総合学習を支援しました。授業では、児童たちにとって身近な庄内川に棲む水生生物の観察や水質調査などの体験を通して河川環境の大切さを学んでもらいました。

また、水害を体験したことのない世代の児童に、近年の大規模水害や東海豪雨の様子を知ってもらうことで、水防災は「事前の備え」や「自らの命は自らで守る」という意識をもった行動が重要であることを伝えました。

環境学習 ～水生生物の説明～



環境学習 ～水生生物の観察～



環境学習 ～お魚タッチプール～



環境学習 (水質調査:水道水と庄内川の水)



【参加した児童：2年生62名】

★児童の感想

- ・うなぎがツルツルしていて、気持ちよかったです。
- ・とびはぜが、すごく跳んでいてびっくりしました。
- ・カニがかたくて、びっくりしました。
- ・今度は、ちがう魚もさわってみたいです。
- ・庄内川の水が、水道水よりずっと見えにくかったです。
- ・防災の話聞いたときに、もっと津波のことを気にしないといけないと思いました。
- ・自分の命は自分で守らないといけない。

防災教育～『自らの命は自ら守る』～



※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスクの着用、消毒、検温等の対策を行い、開催しました。